

ほっとけない ほっとかない 笑い愛(あ)える “くらし” を一緒に♪



地域支えあいの会

発行日 2024年4月

やまびこ通信

Vol. 29

(発行責任者)地域支えあいの会“やまびこ”会長:山下道子 事務局 〒661-0972 尼崎市小中島3-13-16

やまびこは地域住民が主体となり誰もが必要な時に有償・無償で使える仕組みを目指しています。地域の中でお互い「時に支え、時に支えられる」の関係を一緒につくっていきませんか。



活動会員
募集中!



※例えば
話し相手、ごみ出し、そうじ、洗濯水やり、ペットの世話、外出付添、子守り 水回り・トイレの詰まり等

～申込先/問い合わせ先～

地域支えあいの会“やまびこ”事務局

専用電話 080-6126-7819

(事務局開所) 火 13時～15時、金 10時～12時

受付電話は月～土 午前9時～午後5時

MAIL:han.yamabiko@gmail.com

(阪神医療生活協同組合 地域活動サポートセンター

☎06-6491-8822 FAX06-7711-8866 でも伝言承ります)

やまびこ活動報告 活動相談: 44件 正・賛助会員: 73名 【2月末日現在】

年度は新しい始まりになっています。

会員の皆様、活動して下さっている方々、“やまびこ”を支えて下さりありがとうございます。

今年度も総会を5月に予定しております。ぜひご出席して頂き、皆様の日々の活動の声をお聞かせ願ひ、新たな出発の「力」にさせて頂きたいと思ひます。多数のご参加をお願いいたします。

また、会員の更新もよろしくお願ひいたします。

“やまびこ” 総会のご案内

日時 2024年5月27日(月)

10:00～12:00

場所 きらめきセンター

※1部総会 2部交流会

2023年度 地域支えあいの会 “やまびこ” 研修会

2月17日（土）13時30分より、小田北生涯学習プラザに於いて稲村和美さんを講師に「**広げよう、ご近所福祉の“わ”**」と題して、お話をいただきました。

稲村さんは阪神淡路大震災の時、神戸大学の学生で学校内にボランティアセンターを作り、コーディネーターをしていました。被災者の方も「助けていただいたので出来る事で助けてい」と言われ、受けた恩を次に返す『恩おくり』の言葉を実感されました。聞かれた方も同じ思いをされた方が多くおられました。以下はその時の感想の一部です。

- 今は洗濯をさせて頂いておりますが、人様の役に立つ事が出来て私の元気の素になっています。これからも頑張ります。
- 近所に老人の方が多くなり、今日のご近所福祉のお話とありましたので参加しました。良かったです。恩送りに共感です。
- 「広げよう！！ご近所福祉のわ」「ピンチをチャンスにする」
担い手不足。地域に支援者がいない。それは新しい支援者を見つけるチャンス。担い手を育てる機会と捉えられる様、私もできることで関わり続けたいです。



- 70歳を過ぎてもどなたかの役に立てている？ 生きていくことに感謝。
- 初めて“やまびこ”の事を知りました。とても良い会だと思います。他の地域の方にも知っていただけたら、助け合い・支え合いが増えて幸せな人が増えると思います。
- 初めて“やまびこ”を知りました。会員になる事はちょっと・・・ご近所の方の困った助けはしております。
- ご近所福祉を広める。恩送り 異世代がああ、交流する機会を増やす。

※今回はちょっとミニ講座はお休みです



- 多世代の交流で大切な活動を伝承していく事が大事だと思いました。地域の輪をつなげていく事は、現代社会で難しくなっているんだなと感じたりします。私も一緒に活動をたやすく繋げていけるお手伝いをしたいと思います。
- 初めて参加させていただきました。活動されていらっしゃる皆様に感謝いたします。
- やまびこの活動有り難うございます。稲村さんのお話も楽しくよくわかりました。ありがとうございました。
- 広める活動として、ご近所福祉を活用が出来るなと思いました。
- 特別な場ではなくこんな自然な集まり、時々開いて欲しいです。ありがとうございました。稲村さんありがとうございました。80歳男性
- 今日はたくさんのキーワードをいただきました。○ご近所福祉コーディネーター ○恩送り ○捨てたもんじゃないありがとうございました。
- 色々なお話を聞かしていただきありがとうございました。今後もこのような場を持っていたいただければと思います。